



TOHOKU
UNIVERSITY



FDP 未来医療
人材育成
寄附部門
Future Medical and
Healthcare Design Program

最終活動報告

2020.4-2025.3 Final Report





東北大学病院

未来医療人材育成寄附部門 最終活動報告 2025

活動期間:2020年4月～2025年3月

報告対象期間:2023年4月～2025年3月



目次

ご挨拶	3
I.概要	5
II.活動	
1. 年表	6
2. 企業研究員・インターン生紹介	8
3. 各種活動	
1) プロジェクト活動	11
2) 意見交換会・交流会	12
3) 未来型医療創造卓越大学院プログラム	
FM DTS 融合セミナーe サロン・合同メンタリング参加	15
4) 個人活動	18
III.成果	
1) 学会・各種発表	38
2) 出版物	42
3) 掲載記事	43

ご挨拶



東北大学病院 教授
産学連携室長・デザインヘッド
未来医療人材育成寄附部門
部門長

中川 敦寛 教授

平素より、東北大学病院ベッドサイドソリューションプログラム アカデミック・サイエンス・ユニット (ASU)、課題解決型実証フィールド オープン・ベッド・ラボ (OBL)、東北大学病院産学連携室 (Experience Design and Alliance Section : EDAS) が進める多様なコ・クリエーション活動にご理解と多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

株式会社アインホールディングス様の温かいご寄附を賜り、2020年4月に設立された本寄附部門では、医療・ヘルスケア領域における実践的な人材育成と社会実装を目指し、企業・医療機関・学生との協働のもと、課題の抽出からソリューション創出までを一貫して行い、未来医療創出の実践的取り組みへの参加を中心として多くの人材を育成してまいりました。

このたび、5年の活動期間が2025年3月をもって終了となりましたので、これまでの活動とその成果を整理・共有させていただくべく、最終活動報告を取りまとめました。本報告が、これまでの協働の軌跡と今後の可能性を改めて振り返る機会となれば幸いです。

株式会社アインホールディングス様はじめ本事業にご協力賜った皆様のご支援とご助言の一つひとつが、次代の医療・ヘルスケアに貢献する人材とアイデアを育む大きな力となりました。これまでのご厚情に心より感謝申し上げますとともに、今後は「未来医療ヘルスケアデザインプログラム」として、活動の趣旨を継承しつつインターン事業を継続してまいります。引き続き、本学の人材育成および社会連携の取り組みにご賛同賜り、ご支援・ご寄附をいただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

I.概要

1. 設置年月日	2020年4月1日(2020年4月1日~2025年3月31日:5年間)	
2. 部局名	東北大学病院	
3. 寄附部門の名称	未来医療人材育成寄附部門 Future Medical and Healthcare Design Program	
4. 寄附者	株式会社アインファーマシーズ	
5. 担当教員及び職員	中川 敦寛	東北大学病院産学連携室 病院教授 東北大学副理事(国際共創担当)[併任] 東北大学総長特別補佐[併任] 東北大学病院未来医療人材育成寄附部門教授[兼任] 東北大学 総長・プロボスト室[兼任] 東北大学病院長特別補佐[併任] 東北大学戦略共創センター[併任] 東北大学病院臨床研究推進センターバイオデザイン部門長[併任]
	庄司 貞雄	東北大学病院臨床研究推進センターバイオデザイン部門 [学術研究員/兼任] 病院長特別補佐 産学連携室
	奥山 節子	東北大学病院未来医療人材育成寄附部門 [助手]
	工藤 将子	東北大学病院未来医療人材育成寄附部門 [事務職員] 2022年5月~2023年3月
	工藤 まきえ	東北大学病院未来医療人材育成寄附部門 [事務職員] 2023年4月~2025年2月

6. 設置の理由

「2040年問題」をはじめ日本が抱える医療問題は山積みしている。その一方、これらの課題は適切にとらえることでイノベーションの源泉にもなりうる。本院はこれまでも独自のベッドサイドソリューションプログラム(ASU)等の活動により、日本の医療・ヘルスケアの現場が抱える課題を適切にとらえ、多業種の連携、学術や産業と広く協同することで、ソリューションを世界に届けるためのインフラ整備と課題解決を通じた人材育成を行ってきた。この取り組みを日本全国と同じ課題を持つ医療プロフェッショナルと共有・発展させ、来る時代に即した「未来医療」を創出し人々に優しく技術との調和がとれた医療を届けるために本部門を設置する。

7. 目的

医療・ヘルスケアの現場におけるさまざまな問題を適切に課題として設定し、目指すゴールも設定したうえで、業種や職種を超えた協働によりソリューションを創出するプロセスをデザインする人材とそれを支援する人材の方法論を研究し、教育することである。

II.活動

1.年表

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
企業研究員・ インターン生	5 名	8 名	12 名
企業様とプロジェクト活動 ※フィリップス・NEC・富士通は東北大学と包括提携 の為明示し、他企業は業種別表示とする			
参加 ブートキャンプ	7月 電気機器業 B (市ノ渡・大森・門脇)	8月 電気機器業 A (東谷・岩本) 11月 医薬品業 (伊藤)	10月 医薬品業 C (大橋) 2月 富士通 (角南) 4月 その他製造業 (佐々木・古賀・滝沢)

1.年表

2023 年度	2024 年度
14 名	15 名
<p>富士通 (佐藤・幸田・古賀・三浦・崔・山崎)</p> <p>NEC (佐藤・三浦・幸田・楊・後藤・小畑・ハリソン)</p> <p>小売業 (角南・幸田・楊・後藤)</p> <p>電気機器業 C (幸田・野村・内田・櫻井・園田)</p>	<p>医薬品業 D (崔・出口・園田)</p> <p>ガラス土石業 C (ハリソン)</p> <p>ガラス土石業 D (ハリソン)</p>
<p>1月 ↔ 仙台市ヘルステック (佐藤・三浦)</p> <p>3月 ↔ ガラス土石業 B (内田)</p>	<p>4月 ↔ 食品製造業 (内田)</p> <p>5月 ↔ 医薬品卸 (園田)</p> <p>5月 ↔ 電気機器業 D (園田)</p>

II.活動

2. 企業研究員・インターン生紹介 ※期間のアンダーラインはインターン終了

2020 年度 (参加初年度)



大森 夏颯
ジョン・ボブキンズ大学
2020.6~2020.10



門脇 水樹
カリフォルニア大学
サンディエゴ校
2020.7~2021.6



市ノ渡 真史
アインファーマシーズ
薬局薬剤師
2020.6~2021.3



佐々木 亮太
東北大学大学院 医
工学研究科
2020.10~2021.3



柳澤 祐太
東北大学医学部
2021.1~2023.3

2021 年度 (参加初年度)



幸田 龍
東北大学医学部
2021.12~現在



峯村 遥香
東北大学経済学部
2021.4~2022.3



東谷 直哉
東北大学工学部
2021.7~2022.3



岩本 空
東北大学工学部
2021.8~2022.3



伊藤 将
アインファーマシーズ
薬局薬剤師
2021.10~2022.5



和山 裕亮
アインファーマシーズ
薬局薬剤師
2021.10~2022.1

2022 年度 (参加初年度)



滝沢 直
東京工業大学
融合理工学系
2022.4~2023.3



古賀 玲
武蔵野美術大学
造形学部
2022.4~2023.3



佐藤 匠隼
東北大学医学部
2022.4~2024.3



三浦 友裕
東北大学医学部
2022.3~2024.3.



楊 正現
東北大学医学部
2022.6~2025.3



西尾 実華
東北大学医学部
2022.5~2024.3



志原 紗希子
東京大学理科II類
2022.8~2022.9



大橋 莉央
日本女子大学附属
高等学校
2022.10~2022.12



野村 優
東北大学医学部
2023.1~2025.3



角南 沙己
東北大学
理学部地球科学
2023.1~2024.3

2. 企業研究員・インターン生紹介

※期間のアンダーラインはインターン終了

2023 年度 (参加初年度)



宋 海倫
東北大学大学院
経済学研究科 M2
2023.5～現在



藤井 まなみ
オハイオ州立大学
生体医工学博士 2 年
2023.6～2024.3



櫻井 碧
東北大学医学系研究科
保健学専攻 D 1
2023.10～現在



内田 彩希
東北大学医学系研究科
保健学専攻 M 2
2023. 9～2025.3



後藤 美月
東北大学医学部
保健学科 4 年
2023.12～現在



崔 羅博泰
東北大学大学院
経済学研究科 M2
2023.12～2025.3

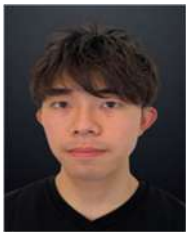


山崎 蒼空
東北大学医学部 5 年
2024.3～現在



出口 敦智
東北大学医学部 5 年
2024.3～現在

2024 年度 (参加初年度)



小畑 蒼大
北海道大学工学部
情報エレクトロニクス学科
2 年
2024.5～現在



園田 芽生
カーネギーメロン大学
電気・コンピュータ工学
1 年
2024.5～2024.8



國島 正寛
東北大学医学部 5 年
2024.6～現在



ハリソン・バンクス
スタンフォード大学
工学部 1 年
2024.6～2024.9



中山 阿砂
東北大学医学系研究科
医科学専攻 M1
2024.10～現在

II.活動

2. 企業研究員・インターン生紹介

図 1.企業研究員・インターン生内訳 N:34

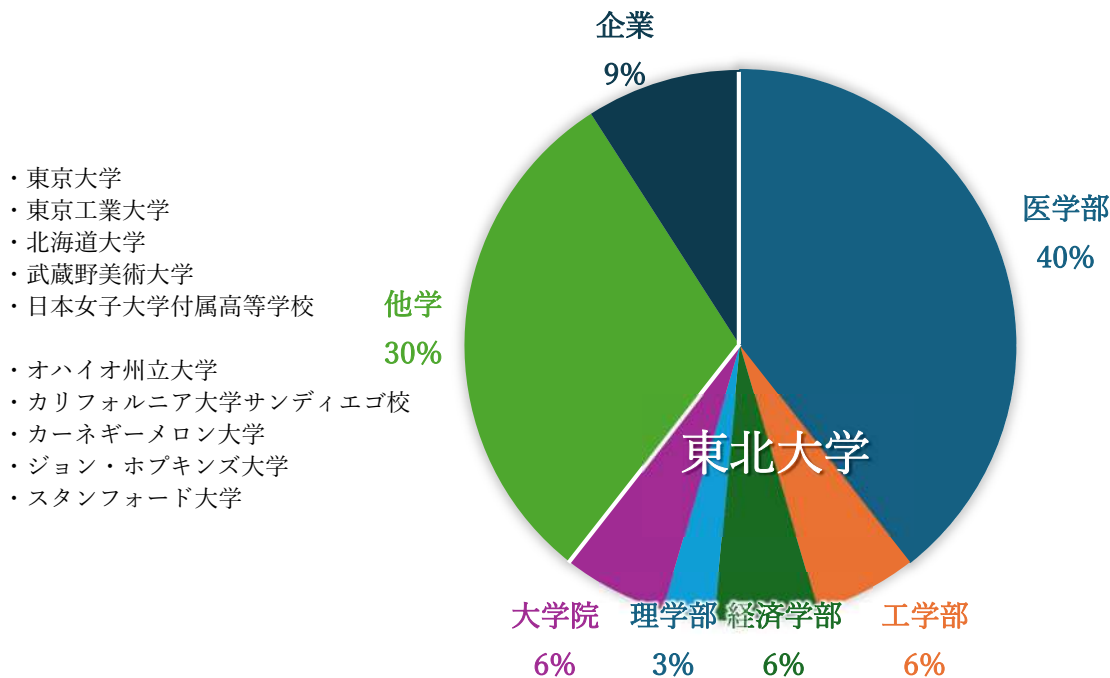
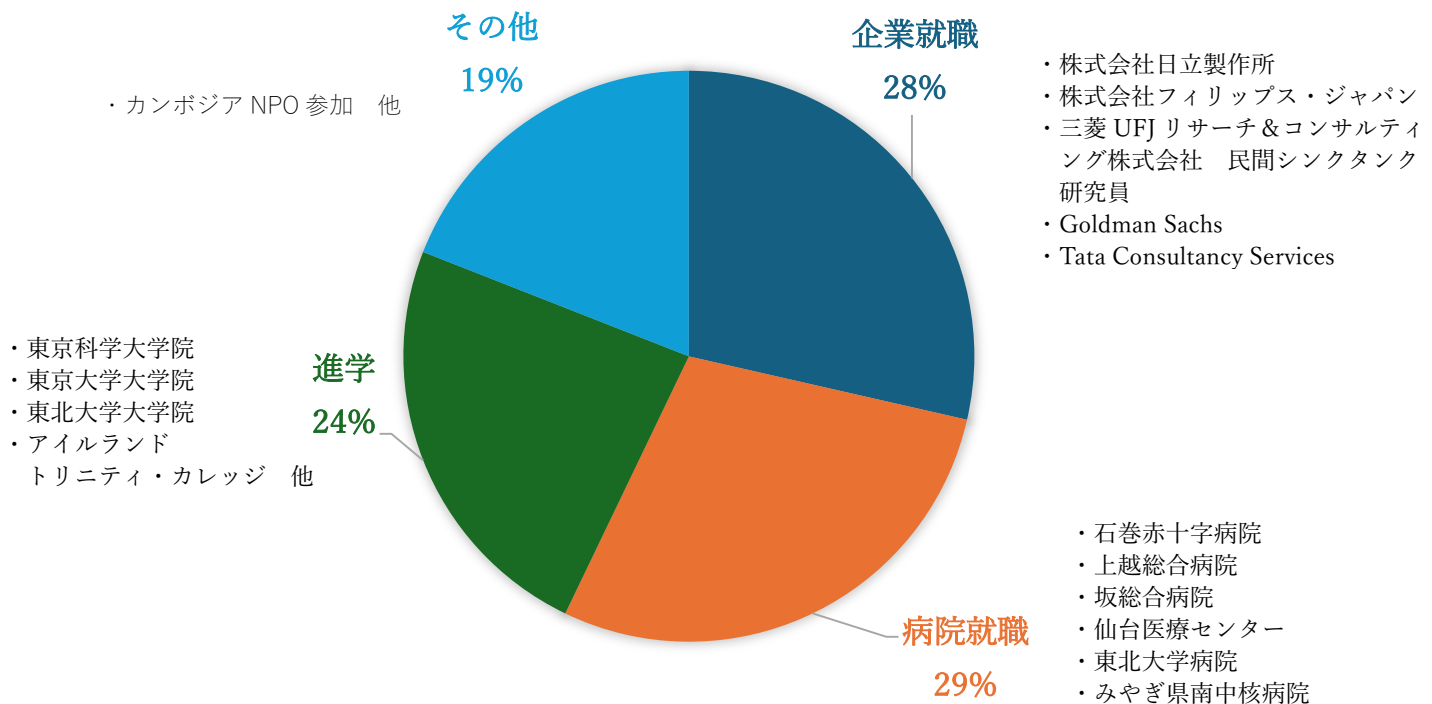


図 2. インターン終了後の進路 N:21



II.活動

3.各種活動

1) プロジェクト活動

ASU(Academic Science Unit)(※1)等に参加している企業様の支援活動で、バイオデザイン手法に沿って、課題探索・文献検索・アイデア創出・ブレインストーミング・研修等を行う。

<主なプロジェクト>

- ・フィリップス：病院内業務改善
- ・NEC：・医師の働き方改革・ジェネレーティブ AI
- ・富士通：UVANCE
- ・医薬品業 D：医薬品の新規事業検討
- ・ガラス・土石製品業 B：医療における材料ニーズ探索
- ・ガラス・土石製品業 C：事業コンセプト創出
- ・ガラス・土石製品業 D：新治療開発プロジェクト
- ・電気機器業 C：センシングデバイス医療応用
- ・食品製造業：ヘルスケア領域に求められる食品
- ・脳腫瘍解析プロジェクト

<ブートキャンプ (※2) >

- ・電気機器業 C、ガラス土石製品業者 B、電気機器業 D、電気機器業 E、食品製造業 A、医薬品卸

(順不同)

(※1)ASU とは東北大学病院で臨床研究推進センターバイオデザイン部門が窓口となり推進しているプログラムである。企業の方々が直接医療現場に入り、現場観察を通して多くのニーズを探索し絞り込みを行い、新たな医療機器や医薬品・システム・サービスなどの製品化・事業化を目指していただく目的で 2014 年 3 月に開始した。

(※2)ブートキャンプとは ASU 参加企業に対し、バイオデザインのニーズ探索からコンセプト創出までの一連のプロセスを体験することによって、実際の ASU 活動の遅延防止やピットホール回避を図り、ASU 活動期間内(6 か月)でのアウトカムを最大化する目的で ASU 活動に入る前の 2 日間で行う集合型研修である。

II.活動

2) 意見交換会・交流会 (注)・各講師の所属・肩書は当時のものである・企業研究員、インターン生が参加したものを掲載

日時	講師	主な内容	参加者
2023.4.26	東北大学病院臨床研究推進センター客員教授 スタンフォード大学プログラムデザインプログラムディレクター (ジャパンバイオデザイン) 池野 文昭 先生	e サロン (未来型医療創造卓越大学 院プログラム企画)	佐藤・櫻井
2023.5.15	医師・作家 東海大学健康学部客員教授 南 杏子 先生	合同メンタリング (未来型医療創造卓越大学 院プログラム企画)	櫻井・西尾
2023.6.7	東北大学特任教授(客員) 株式会社三菱総合研究所 執行役員 (兼) 研究理事 シンクタンク部門長 武田 洋子 先生	合同メンタリング (未来型医療創造卓越大学 院プログラム企画)	角南・宋・西尾・野 村・楊・三浦
2023.6.22	東北大学病院臨床研究推進センター バイオデザイン部門教授(客員) リーナル・プロ・メディカル社 CEO and President (MD, PhD, MBA) John Tsung-Chun Lee 先生	交流会	藤井・三浦
2023.6.28	東北大学特任教授(客員) Bangkok Hospital (バンコク、タイ) 日本人マネージャー・医療コーディネーター 則武 淳 先生	合同メンタリング (未来型医療創造卓越大学 院プログラム企画)	宋・佐藤・西尾
2023.7.7	株式会社三菱総合研究所 海外事業本部主任研究員 川邊 万希子 様	交流会	西尾・藤井・内田・ 野村・三浦・宋・崔
2023.7.19	東北大学特任教授(客員) 株式会社ワークマン 専務取締役 土屋 哲雄 先生	合同メンタリング (未来型医療創造卓越大学 院プログラム企画)	角南・野村・宋
2023.8.30	東北大学特任教授(客員) Blue Bottle Coffee Inc. Strategic Brand Advisor インフロッセンス株式会社 代表取締役 井川 沙紀 先生	合同メンタリング (未来型医療創造卓越大学 院プログラム企画)	野村
2023.9.20	東北大学特任教授(客員) 有限会社ケイズ・パラダイス 代表取締役 小森谷 徹 先生	合同メンタリング (未来型医療創造卓越大学 院プログラム企画)	野村
2023.10.4	東北大学特任教授(客員) KPMG コンサルティング株式会社 ライフサイエンス・ヘルスケア アソシエイトパートナー (兼) KPMG ジャパン プライベートエンター プライズ スタートアップ担当 赤坂 亮 先生	合同メンタリング (未来型医療創造卓越大学 院プログラム企画)	野村・角南
2023.10.25	クリーブランド・クリニック・ヒルクレスト病院 理事長 藤田 浩之 先生	交流会	西尾・楊
2023.11.1	東北大学特任教授(客員) 株式会社 PreferredNetworks, Solutions 部門 Healthcare & Wellness チーム Engineering Manager 兼 Researcher 水野 和恵 先生	e サロン 合同メンタリング (未来型医療創造卓越大学 院プログラム企画)	内田・櫻井

2) 意見交換会・交流会 (注)・各講師の所属・肩書は当時のものである・企業研究員、インターン生が参加したものを掲載

日時	講師	主な内容	参加者
2023.11.14	東北大学特任教授 (客員) Bio-Rad Laboratories, Inc., Digital Biology Group, Global Marketing Manager 上原 輝彦 先生	合同メンタリング (未来型医療創造卓越大学 院プログラム企画)	櫻井
2023.12.13	アメリカ疾病予防管理センター(CDC) HIV 予防課上席主任研究官・国際緊急援助隊リーダー 神谷 英美子 先生	合同メンタリング (未来型医療創造卓越大学 院プログラム企画)	佐藤・宋・幸田
2023.12.15	住友ベークライト株式会社 (4名) 代表取締役 副社長 稲垣 昌幸 様	交流会	櫻井・西尾・佐藤・ 野村・幸田
2024.1.22	IMPACT ACCESS(Japan) Founder & CEO 'Impact Curator' 日下部 裕美子 様	交流会	櫻井
2024.1.22	沖縄科学技術大学院大学 学長 Karin Markides 先生	交流会	櫻井
2024.1.24	東北大学特任教授 (客員) オイシックス・ラ・大地株式会社 執行役員 経営企画本部 グリーン戦略室 室長 東海林 園子 先生	合同メンタリング (未来型医療創造卓越大学 院プログラム企画)	内田・山崎
2024.2.21	東北大学特任教授 (客員) 前 Business Insider Japan 統括編集長 元 AERA 編集長 ジャーナリスト 浜田 敬子 先生	合同メンタリング (未来型医療創造卓越大学 院プログラム企画)	山崎
2024.4.24	3D Architech CEO 成田 海 様	交流会	崔
2024.5.15	東北大学病院臨床研究推進センター客員教授 スタンフォード大学プログラムデザインプログラムディレクター (ジャパンバイオデザイン) 池野 文昭 先生	合同メンタリング (未来型医療創造卓越大学 院プログラム企画)	内田・出口
2024.5.21	サラヤ株式会社 常務取締役 メディカル事業本部 本部長 吉田 葉子 様	交流会	櫻井・内田・園田
2024.7.5	SOMPO ホールディングス グループ Co-CDO 執行役員 Albert B. Chu 様	交流会	園田・バンクス
2024.7.16	カナダ大使館商務官 烏田 様、河尻 様	交流会	宋・園田・バンクス
2024.7.31	10x beta CEO arcel Botha 様	交流会	園田・バンクス
2024.7.31	東北大学特任教授 (客員) 富士通株式会社 執行役員 EVP Japan リージョン 副リージョン長 古濱 淑子 先生	合同メンタリング (未来型医療創造卓越大学 院プログラム企画)	園田・バンクス
2024.8.21	東北大学特任教授 (客員) ALPS ALPINE Europe-GmbH Sweden (欧州赴任) エンジニアリングマネージャー 廣部 希世 先生	合同メンタリング (未来型医療創造卓越大学 院プログラム企画)	小畑
2024.9.10	ロート製薬株式会社 代表取締役会長 山田 邦雄 様	交流会	櫻井・バンクス

II.活動

2) 意見交換会・交流会 (注)・各講師の所属・肩書は当時のものである・企業研究員、インターン生が参加したものを掲載

日時	講師	主な内容	参加者
2024.9.11	東北大学特任教授 (客員) 東京海上ホールディングス株式会社 執行役員 鍋嶋 美佳 先生	合同メンタリング (未来型医療創造卓越大学院プログラム企画)	内田・山崎
2024.10.16	株式会社バソナ JOB HUB ソーシャルイノベーション部長 加藤 遼 先生	合同メンタリング (未来型医療創造卓越大学院プログラム企画)	後藤
2024.9.18	EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 パートナー 木戸 太一 様	交流会	宋・櫻井・後藤・ 出口
2024.10.15	Fitbit 社シニアアドバイザー 熊谷 芳太郎 先生	交流会	櫻井・後藤
2024.11.11	厚生労働省医政局特定医薬品開発支援・医療情報担当参事官室 室長補佐 青木 智乃紳 先生	交流会	國島・櫻井・内田・ 山崎
2024.12.11	アマゾンウェブサービスジャパン合同会社 公共部門 ヘルスケア事業本部 アカウントエグゼクティブ 鈴田 尚子 先生	合同メンタリング (未来型医療創造卓越大学院プログラム企画)	内田・國島
2024.12.23	東京大学先端研創発戦略研究オープンラボ (ROLES) 連携研究員 徳永 勇樹 様	交流会	山崎、後藤、出口
2025.2.7	Chief Global Officer(CGO) Marie-Pierre Favre 先生	交流会	櫻井



2023年6月 John Tsung-Chun Lee 先生 交流会



2024年9月 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社様 交流会



2024年11月 青木先生 交流会

II.活動

3) 未来型医療創造卓越大学院プログラム

FM DTS 融合セミナーe サロン・合同メンタリング参加

FM DTS 融合セミナーは学外の企業・行政などの第一線で活躍している講師を招聘し、講演をしていただく。公開セミナーとして開催しており、誰でも参加可能である。

※e サロンとは：オンラインでセミナー講師、企業、研究者、学内の有識者が自由に意見交換する場であり、学生の参加も可能。参加者は6～8名程。

※合同メンタリングとは：オンラインでセミナー講師と学生が自由に意見交換する場である。

主催：東北大学未来型医療創造卓越大学院プログラム

共催：東北大学病院臨床研究推進センターバイオデザイン部門 医工連携イノベーション推進事業

(注)・各講師の所属・肩書は当時のものである

・企業研究員、インターン生が参加したものを掲載



東北大学病院臨床研究推進センター客員教授
池野 文昭 先生
スタンフォード大学
プログラムデザインプログラムディレクター
(ジャパンバイオデザイン)
e サロン参加者 2 名



東北大学特任教授 (客員)
水野 和恵 先生
株式会社 PreferredNetworks,
Solutions 部門 Healthcare & Wellness チーム
Engineering Manager 兼 Researcher
e サロン参加者 2 名



東北大学特任教授 (客員)
浜田 敬子 先生
ジャーナリスト
前 Business Insider Japan 統括編集長
元 AERA 編集長
e サロン参加者 1 名



東北大学特任教授 (客員)
武田 洋子 先生
株式会社三菱総合研究所 執行役員
(兼) 研究理事 シンクタンク部門長
合同メンタリング参加者 6 名



東北大学特任教授 (客員)
土屋 哲雄 先生
株式会社ワークマン 専務取締役
合同メンタリング参加者 3 名



東北大学特任教授 (客員)
井川 沙紀 先生
Blue Bottle Coffee Inc.
Strategic Brand Advisor
インプロセス株式会社 代表取締役
合同メンタリング参加者 1 名



東北大学特任教授 (客員)
小森谷 徹 先生
有限会社ケイズ・パラダイス
代表取締役
合同メンタリング参加者 1 名



東北大学特任教授 (客員)
赤坂 亮 先生
KPMG コンサルティング株式会社
ライフサイエンス・ヘルスケア
アソシエイトパートナー
兼) KPMG ジャパンプライベートエンター
プライズスタートアップ担当
合同メンタリング参加者 2 名



東北大学特任教授 (客員)
水野 和恵 先生
株式会社 PreferredNetworks,
Solutions 部門 Healthcare & Wellness チーム
Engineering Manager 兼 Researcher
合同メンタリング参加者 2 名



東北大学特任教授 (客員)
東海林 園子 先生
オイシックス・ラ・大地株式会社
執行役員 経営企画本部
グリーン戦略室 室長
合同メンタリング参加者 2 名



東北大学特任教授 (客員)
浜田 敬子 先生
前 Business Insider Japan 統括編集長
元 AERA 編集長 ジャーナリスト
合同メンタリング参加者 1 名



東北大学病院臨床研究推進センター客員教授
池野 文昭 先生
スタンフォード大学
プログラムデザインプログラムディレクター
(ジャパンバイオデザイン)
e サロン参加者 2 名



東北大学特任教授 (客員)
古濱 淑子 先生
富士通株式会社 執行役員 EVP
Japan リージョン 副リージョン長
合同メンタリング参加者 2 名



東北大学特任教授 (客員)
廣部 希世 先生
ALPS ALPINE Europe-GmbH Sweden
(欧州赴任)
エンジニアリングマネージャー
合同メンタリング参加者 1 名



東北大学特任教授 (客員)
鍋嶋 美佳 先生
東京海上ホールディングス株式会社
執行役員
合同メンタリング参加者 2 名



東北大学特任教授（客員）
加藤 遼 先生
株式会社パソナ JOB HUB
ソーシャルイノベーション部長
合同メンタリング参加者 1名



東北大学特任教授（客員）
鈴木 尚子 先生
アマゾンウェブサービスジャパン合同会社
パブリックセクター統括本部 ヘルスケア事業本部
アカウントエグゼクティブ
合同メンタリング参加者 2名



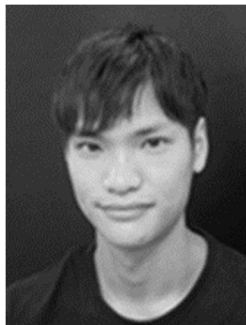
2024年7月 古濱先生 合同メンタリング



2024年9月 鍋嶋先生 合同メンタリング

II.活動

4) 個人活動



幸田 龍 Ryu Koda

学生として医学を勉強する傍ら、東北大学発スタートアップでの活動や社会実装を前提とした脳機能の研究に従事しております。

本インターンへの参加を通して、自身のエンジニアリングスキルを用いた課題解決デザインを身につけたいと考えております。

[略歴]

2020年3月 静岡県立浜松北高等学校 卒業
2021年4月 東北大学医学部医学科 入学
2027年3月 東北大学医学部医学科 卒業予定

インターン期間	所属	学部
2021年12月～現在	東北大学	学部：医学部 所属研究：神経外科学分野 指導教官：中川敦寛先生
活動分野		
<input checked="" type="checkbox"/> 1, プロジェクト活動 NEC・小売業：健康維持衣料 健康維持器具検討・ 電気機器業 C：新規事業検討		
<input checked="" type="checkbox"/> 2, FM DTS 融合セミナー受講		
<input checked="" type="checkbox"/> 3, 卓越セミナーe サロン		
<input checked="" type="checkbox"/> 4, 意見交換会・交流会（住友ベークライト株式会社 代表取締役副社長 稲垣昌幸様）		
<input type="checkbox"/> 5, 広報取材取材先		
・活動概要 ・感想 ・主な学び		
【活動】 <u>情報通信業 A 社</u> SXSW2024（オースティン）での展示/スタートアップピッチへの登壇 AWE EU2024（ウィーン）での展示/スタートアップピッチへの登壇 CES2025（ラスベガス）での展示/スタートアップピッチへの登壇 <u>東北大学大学院医学系研究科・医学部 神経外科学分野</u> 第14回東日本研究医養成コンソーシアム 夏のリトリート ポスター部門最優秀賞 <u>東北大学大学院医学系研究科・医学部 てんかん学分野</u> 経済産業省 AKATSUKI プロジェクト MiTOHOKU 最優秀賞 国内特許取得（2024-035856）&PCT 出願（PCT/JP2025/7917）		
【感想・学び】 約3年間のインターンを通して、デザイン思考を学ばせていただきました。課題探索によって発掘した課題に対して、どの様にエレガントな一筆書きのデザインを作るかを繰り返してトレーニングすることで、自分ならではの技術を確立し始められたと感じています。今後も医療×AIの組み合わせ人材として、活躍していきたいと思っております。		

II.活動

4) 個人活動



野村 優 Yu Nomura

医学部で医学を勉強する傍ら、画像診断学分野でプログラミングの勉強や論文を執筆しています。本インターンの中でデザイン思考を習得するとともに、様々な分野のプロフェッショナルの方々との交流によって多角的な視点を獲得し、持続可能で高品質な医療を提供することができる社会の実現に貢献できるよう精進します。

[略歴]

2018年3月 私立開成高等学校 卒業
2019年4月 東北大学医学部医学科 入学
2025年3月 東北大学医学部医学科 卒業予定

インターン期間	所属	学部
2023年1月～2025年3月	東北大学	学部：医学部
活動分野		
<input checked="" type="checkbox"/> 1, プロジェクト活動 電気機器業 C：新規事業検討 <input checked="" type="checkbox"/> 2, FM DTS 融合セミナー受講 <input type="checkbox"/> 3, 卓越セミナーe サロン <input checked="" type="checkbox"/> 4, 意見交換会・交流会（住友ベークライト株式会社 代表取締役副社長 稲垣昌幸様、株式会社三菱総合研究所 海外事業本部主任研究員 川邊 万希子様） <input type="checkbox"/> 5, 広報取材取材先		
・活動概要 ・感想 ・主な学び		
【活動】 医学科1年次に東北大学病院脳神経外科学分野のアルバイトスタッフとしてご採用いただいて以来、デザイン思考の勉強をさせていただいたり、アカデミック・サイエンス・ユニット（ASU）に参加された様々な企業の方々や仙台からイノベーションを起こしていくことを目標に意見を交わしたりと、貴重な経験をたくさん積ませていただきました。 特に、4年次にインターンにご採用いただいてからはインターンの先輩方や医学部以外の様々な Background を持つ学生とともに ASU の活動の解析を通じて全体の運営の成果を評価する仕事を行いました。		
【感想・学び】 まずは、ASU でのインターンを行わなければできなかったであろう稀有な経験をたくさん積ませていただいたこと、そしてインターンの活動を支援して下さった皆様に心より感謝申し上げます。 現行の医学部の教育は国家試験を突破するための詰め込み型になりがちで、6年間を終えて卒業する頃には医学以外の分野の視野が狭くなっているケースが多いです。しかし、本インターン活動によって医学以外の多様な分野へのアクセスを保てたことは、今後のキャリアにおいて医学・医療に軸足を置きつつ、イノベーションを目指した研究を行う上でかけがいのない経験だったと確信しています。		

II.活動

4) 個人活動



三浦 友裕 Tomohiro Miura

東北大学医学部に所属し、現在は臨床実習を通して医師の在り方、医療者連携の在り方などを学んでおります。本インターンでは医療デザインを創出する過程を学び、既存の方法にとらわれず、新しい視点で問題を解決できる人材になりたいと考えております。

【略歴】

2018年3月	東京都立小石川中等教育学校 卒業
2018年4月	東北大学医学部医学科 入学
2024年3月	東北大学医学部医学科 卒業
2024年4月	坂総合病院 入職

宮城県塩竈市の坂総合病院で、研修医1年目として日々研鑽を積んでいます。診療の質を上げるための要素を学ぶ毎日であり現場を見ることの重要性を再認識しています。

インターン期間	所属	学部
2022年3月～2024年3月	東北大学	学部：医学部

活動分野

- 1, プロジェクト活動 NEC、仙台市ヘルステック推進事業、医療機器ニーズ探索体験プログラム
ブートキャンプ参加
- 2, FM DTS 融合セミナー受講
- 3, 卓越セミナーeサロン
- 4, 意見交換会・交流会（未来型医療創造卓越大学院プログラム特任教授（客員）・認定非営利活動法人ジャパンハート 最高顧問 吉岡秀人先生、来型医療創造卓越大学院プログラム特任教授（客員）・株式会社三菱総合研究所 執行役員（兼）研究理事 シンクタンク部門長 武田洋子先生、来型医療創造卓越大学院プログラム特任教授（客員）・株式会社三菱総合研究所 海外事業本部主任研究員 川邊 万希子先生、経済産業省・METI 医福室 室長廣瀬先生・補佐重藤先生・野崎先生、東北経済局・METI 東北経産局 補佐小川先生・係長石山先生、台湾デジタル部 Administratio for Digital Industries, Ministry of Digital 副署長 胡貝蒂先生、富士通株式会社 執行役員 SEVP Japan リージョンリージョン CEO 堤浩幸先生、リーナル・プロ・メディカル社 CEO and President (MD, PhD, MBA) John Tsung-Chun Lee 先生)
- 5, 広報取材（取材先：WEB MAGAZINE INDEX、CRIETO Report）

・活動概要 ・感想 ・主な学び

【活動】

「医師の働き方改革」に向けて、NEC社と共同で生成AIにおける日本語大規模言語モデルを活用し、電子カルテなどの情報をもとに医療文書を自動作成する実証実験を行いました。

【感想・学び】

今年のNEC社のプロジェクトを通じて、医療現場における課題の発見と解決策の計画立案の重要性を学びました。

医療現場では、日々の業務に慣れてしまうと、現状の課題や非効率な点に気づきにくくなる場合があります。しかし、現場を知る医療者だからこそ、業務の中に潜む無駄や矛盾に気づくことができるの

も事実です。時には自らの業務の生産性に疑問を持ち、改善点がないか考えることの重要性を学びました。

業務効率を改善するためには、まず業務全体の流れを可視化し、課題の根本原因を突き止める必要があります。医療現場は多職種連携が必須であるため、各職種の役割と成果物を明確にし、それらがどのように連携し、次の業務に繋がっているのかを把握することが重要です。

問題点が明確になったら、次は各問題の重要度と緊急度を評価し、優先順位をつけます。そして、優先度の高い課題に対して、実現可能性の高い解決策を検討し、実行に移します。

このような全体計画に基づいて行動することで、チーム全体の目標が明確になり、各メンバーの役割も明確になるため、チームとしての成果物の質も向上すると実感しました。

この手法は、医療現場に限らず、様々な分野の課題解決に応用できるものです。学生時代のインターンシップでこの経験ができたことは、現在の業務においても、そして将来においても、非常に有益な財産となっています。

II.活動

4) 個人活動



楊 正琨 Zhengkun Yang

新動向を知り、デザインシンキングとチームワークのスキルを向上させたいと考えています。各業界で活躍するトップリーダーの方々に様々な考え方や働き方を学び、変化の激しい時代に適応できる人に成長していきたいと思っています。

[略歴]

2018年6月 Wuhan Foreign Languages School 卒業
2019年4月 東北大学医学部医学科 入学
2025年3月 東北大学医学部医学科 卒業

インターン期間	所属	学部
2022年6月～2025年3月	東北大学	学部：医学部
活動分野		
<input checked="" type="checkbox"/> 1, プロジェクト活動 NEC、小売業 <input checked="" type="checkbox"/> 2, FM DTS 融合セミナー受講 <input checked="" type="checkbox"/> 3, 卓越セミナーe サロン <input checked="" type="checkbox"/> 4, 意見交換会・交流会（未来型医療創造卓越大学院プログラム特任教授（客員）・認定非営利活動法人ジャパンハート 最高顧問 吉岡秀人先生など） <input type="checkbox"/> 5, 広報取材		
・活動概要 ・感想 ・主な学び		
【活動】 NEC のプロジェクトでは、医師の働き方改革に向けて、「Less effort, more impact」を目指して、NEC さんのセンシング技術や言語処理技術などの強みを生かしながら、既存のシステムに新しい仕組みを取り込むことで、医療現場での業務の効率化を図りました。ニーズ探索から始め、病院内の業務を広く分析し、労働時間や病院収益につながるものを KPI として絞り出し、さらに KPI を容易性（ハードル）と効果の二軸にマッピングすることで最初に着手すべき課題を見出しました。それらの課題を管理層、経営層の方々に提示し、現場と企業側との間の認知のギャップをすり合わせました。課題が明確になってから、現場観察を行い、プロトタイプを用いて KPI の改善度合いを数値化し、「年間〇〇労働時間節約、病院収益〇〇%上昇」のような明確なアウトプットを価値として提示しました。		
【感想・学び】 インターン生として、企業とのミーティング参加を中心に本プロジェクトに参加しました。学生でありながらも、発言する機会をいただき、管理層や経営層の方々にもインタビューし、時に企業側にも提案し、先生の動きを見様見真似で、自由探索の中でデザインシンキングを少し体験できたと思います。ミーティングの効率的な進め方や次回のミーティングまでの各々の仕事を簡条書きするなどを見て、改めてマネジメントスキルの大切さを実感しました。また、各業種の医療関係者にヒアリングを行う中で、医療の役割分担やリスク管理、収益構造などを教えてもらい、病院の全体像を知るいい機会となりました。このような多方面から学べる環境を提供してくださった本プロジェクトに大変感謝しております。		

II.活動

4) 個人活動



内田 彩希 Saki Uchida

大学院にて公衆衛生看護学を専攻しております。看護学・公衆衛生看護学のバックグラウンドをベースに、10年後・20年後の未来のより良い医療や保健、ヘルスケアをデザインできる人材になれるよう、学び成長していきたいです。

[略歴]

2019年3月 本庄東高等学校 卒業
 2019年4月 東北大学医学部保健学科看護学専攻 入学
 2023年3月 東北大学医学部保健学科看護学専攻 卒業
 2023年4月 東北大学大学院医学系研究科保健学専攻公衆衛生看護学分野 博士前期課程 入学
 2025年3月 東北大学大学院医学系研究科保健学専攻公衆衛生看護学分野 博士前期課程 修了

インターン期間	所属	学部
2023年9月～2025年3月	東北大学	研究科：医学系研究科 所属研究：公衆衛生看護学 指導教官：原ゆかり先生
活動分野		
<p><input checked="" type="checkbox"/> 1, プロジェクト活動 電気機器業 C：新規事業検討__ヘルスケア領域に求められる食品プロジェクト、ASU ブートキャンプ参加</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2, FM DTS 融合セミナー受講</p> <p><input type="checkbox"/> 3, 卓越セミナーe サロン</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 4, 意見交換会・交流会（未来型医療創造卓越大学院プログラム特任教授（客員）・株式会社三菱総合研究所 海外事業本部主任研究員 川邊 万希子先生、未来型医療創造卓越大学院プログラム特任教授（客員）・サラヤ株式会社 常務取締役 メディカル事業本部本部長 吉田 葉子先生、厚生労働省医政局特定医薬品開発支援・医療情報担当参事官室 室長補佐 青木智乃紳先生）</p> <p><input type="checkbox"/> 5, 広報取材</p>		
・活動概要 ・感想 ・主な学び		
<p>【活動】 電気機器業 C：センシングデバイス医療応用プロジェクト 食品製造業：事業コンセプト創出プロジェクト</p> <p>【感想・学び】 電気機器業 C：センシングデバイス医療応用プロジェクトでは、新規センシング事業の検討調査に携わる機会をいただきました。様々な専門分野の学生が集まり、共に調査等を行う中で、専門性やチームマネジメントの重要性を学びました。多岐にわたる検討事項の中で、自分はここで貢献できる、という専門領域やスキルを持っていることの必要性を感じ、また、インターンの先輩方がその特性を活かすためのチームマネジメントを実践している様子から、これらを学びました。</p> <p>食品製造業：事業コンセプト創出プロジェクトでは、ブートキャンプでのバイオデザインプロセスの学習に始まり、大学病院での現場観察やニーズ探索、ニーズセレクション、コンセプト創出の一連の流れを経験させていただきました。その中でも特に、ニーズセレクションの難しさと重要性を痛感しました。ニーズの強さ、既存技術の利用可能性、経済的インパクト、安全性・利便性など様々な要素</p>		

から総合的に考慮してニーズを絞り込んでいく必要があります、判断材料となる情報の精度を高めることや、ビジネスとして事業化の判断基準が明確になっていることが重要であると学びました。

上記のような、企業プロジェクトへの参加に加え、FM DTS 融合セミナーや意見交換会、交流会にも参加させていただきました。各界の第一線でご活躍の方々からお話を伺う機会を通し、プロフェッショナルとしての自分の基盤とそれを多方面に応用できるようなスキルや態度・行動の重要性を学び、自身の価値観にも大きな影響を与えていただきました。

最後に、インターン期間、多くの貴重な機会をいただきました臨床研究推進センター(CRIETO)、ASU、プロジェクトでお世話になった企業の皆様、東北大学病院の皆様に心より感謝申し上げます。

II.活動

4) 個人活動



崔 羅博泰 Cui Luobotai

東北大学大学院経済学研究科に在籍しております。医療イノベーションは経済学において重要な役割を果たしていると確信しています。このインターンプログラムを通じて新しい領域における知識を獲得し、多様なアプローチに触れながら問題解決力と思考力を一層発展させたいと考えています。同時に、技術革新と経済発展の相互関係を深く理解し、その知識を活かして社会に貢献できる人材として成長していきたいです。

[略歴]

2023年3月 埼玉大学経済学部 卒業
2023年4月 東北大学大学院経済学研究科 入学
2025年3月 東北大学大学院経済学研究科 修了

インターン期間	所属	学部
2023年12月～2025年3月	東北大学	学部：経済学部 所属研究：応用マクロ経済学 指導教官：鈴木通雄准教授

活動分野

- 1, プロジェクト活動 富士通、医薬品業 D
- 2, FM DTS 融合セミナー受講
- 3, 卓越セミナーeサロン
- 4, 意見交換会・交流会（未来型医療創造卓越大学院プログラム特任教授（客員）・株式会社三菱総合研究所 海外事業本部主任研究員 川邊万希子先生、3D Architech CEO 成田 海様）
- 5, 広報取材

・活動概要 ・感想 ・主な学び

【活動】

医療機器業界の新規事業創出の可能性を検討し、市場調査・競合分析・事業モデル設計の手法を実践的に学びました。特に、異業種との連携やテクノロジーの活用が医療分野でどのように新たな価値を生むかを考察しました。

また、FM DTS 融合セミナーに参加し、医療機器業界にとどまらない幅広い業界の知見に触れる機会を得ました。各業界の専門家による講義やディスカッションを通じて、異なる業界の視点やアプローチについて学びました。

さらに、第一線で活躍する専門家や経営者との意見交換会に参加し、グローバルな市場動向や新規事業開発のリアルな課題について直接話を聞く機会を得ました。特に、政策立案や技術革新の現場で求められるスキルについて理解を深めました。

【感想・学び】

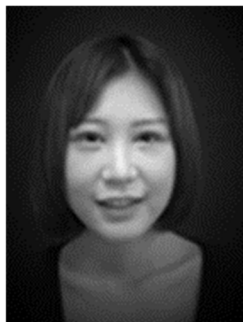
インターンを通じて、医療機器業界における新規事業創出の難しさと可能性を実感しました。市場調査や競合分析を行う中で、医療分野特有の規制や技術革新のスピード感を理解し、事業モデルを構築する際には多角的な視点が必要であることを学びました。特に、異業種との連携の重要性を認識し、技術革新だけでなく社会的ニーズの把握やビジネス戦略の立案が不可欠であることを痛感しました。

また、FM DTS 融合セミナーを通じて、異なる業界の考え方やアプローチを学びました。これにより、特定の業界の枠を超えたイノベーションの可能性を知ることができ、自分の視野を広げる良い機

会になりました。さらに、第一線で活躍する専門家や経営者との直接対話を通じて、実際のビジネス現場で求められるスキルや考え方について学ぶことができました。

II.活動

4) 個人活動



宋 海倫 Song Hailun

東北大学大学院経済学研究科に所属しております。学部時代から、イノベーションのための人材ポートフォリオ分野に引き込まれ、自らもバイオデザイナーとして、蓄えた経済経営学の知識を医療イノベーションに貢献したいようになりました。異分野や多国籍出身の方だからこそ、異なる視点を持ち込んで新しい価値を生み出すことができますが、達成することは容易ではないと思います。参入者として、より近い現場で実践することにより、医療ビジネスの創出だけでなく、バイオデザインのフレームワークをさらに広い業界に適用させようとしていきたいです。

【略歴】

2017年6月	邯鄲大学 卒業
2023年3月	国土館大学 編入卒業
2023年4月	東北大学大学院経済学研究科博士前期課程 入学
2025年3月	東北大学大学院経済学研究科博士前期課程 修了
2025年4月	東北大学大学院経済学研究科博士後期課程 進学
2028年3月	東北大学大学院経済学研究科博士後期課程 修了予定

インターン期間	所属	学部
2023年5月～現在	東北大学	学部：経済学研究科 所属研究：産業発展研究室 指導教官：川端望教授
活動分野		
<input type="checkbox"/> 1, プロジェクト活動 <input checked="" type="checkbox"/> 2, FM DTS 融合セミナー受講 <input checked="" type="checkbox"/> 3, 卓越セミナーe サロン <input checked="" type="checkbox"/> 4, 意見交換会・交流会（未来型医療創造卓越大学院プログラム特任教授（客員）・株式会社三菱総合研究所 海外事業本部主任研究員 川邊 万希子先生、カナダ大使館商務官 烏田様・河尻様、EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 パートナー 木戸太一様） <input type="checkbox"/> 5, 広報取材		
・活動概要 ・感想 ・主な学び		
【活動】 学生企画 / FM DTS 融合セミナー NGA 株式会社 CEO Alex Wang 先生ご講演会 【感想・学び】 NGA 株式会社の CEO である Alex Wang 氏をお招きし、学生主催「生成 AI 時代は起業のチャンス～これからのキャリア形成、就職と起業の選択肢」を開催しました。私は企画者として、Alex 氏への講演依頼をはじめ、日程調整や司会進行、一部の広報業務も担当しました。このイベントのきっかけは、学生同士が将来のキャリア選択や自己実現における「起業」の可能性に興味を持ち始めたことです。 従来の就職活動に縛られず、自らビジネスを立ち上げる道を模索する学生が増えている中、実際の起業家の経験や意思決定の瞬間に触れる機会が必要だと感じました。 また、同世代で学びや挑戦を共有し、仲間とのつながりを深めたいという思いがイベント開催の原動力となりました。参加者の熱意や関心を直に感じることができ、非常に充実感を得られました。		

特に印象に残ったのは、応募者数の多さです。多くの方が起業やキャリア選択に真剣に向き合い、自分の可能性を模索している姿に触れ、私自身も大いに刺激を受けました。また、Alex Wang 氏の起業家としての実体験や具体的なアドバイスは、参加者にとって非常に価値のある内容だったと感じています。

連続起業家である Alex Wang 氏は、複数のビジネスアイデアを見出し、それを形にして成功させる能力を持っています。そのプロセスを学ぶことで、自分のアイデアを具体化する方法に関する貴重なヒントを得ることができました。我々インターン生にとって、実用化に向けた重要な課題は資金調達です。

Alex 氏が Pre-A ラウンドで 6 億円の資金調達を完了した話を聞き、短時間で投資家を説得するには、明確で説得力のあるプレゼンテーションと、自分のビジネスに対する情熱、具体性、データに基づく論理が不可欠だと痛感しました。そのためには、問題の明確化と独自性のあるビジネスモデルが肝心だと感じています。さらに、今回初めて本プログラム推進室の業務に関わり、その大変さを実感し、深く感謝しています。今後もこのようなイベントを通じて、多くの人とつながり、実りある学びの場を創出していきたいと考えています。

II.活動

4) 個人活動



櫻井 碧 Aoi Sakurai

私の目標は、広範な視野を持ち、産学官連携の中で新たな医療革新を促進することができる研究者になることです。現在は大学院にて親子の愛着形成に関する研究を行っております。本インターンへの参加を通じて、医療の視点からより良い社会を設計する思考力と実現力を高めて参ります。

[略歴]

2015年3月 山形県立山形東高等学校 卒業
2019年3月 東北大学医学部保健学科看護学学士 取得
2019年4月 慶應義塾大学病院 入職(助産師)
2022年4月 東北大学医学系研究科ウィメンズヘルス・周産期看護学分野 助手
2024年3月 ジャパンバイオデザインプログラム9期フェロー 修了
2024年10月 東北大学医学系研究科保健学専攻博士後期課程 入学

インターン期間	所属	学部
2023年10月～現在	東北大学大学院	学部：医学系研究科 所属分野：小児看護学 指導教官：塩飽仁教授
活動分野		
<input checked="" type="checkbox"/> 1, プロジェクト活動 電気機器業 C：新規事業検討 <input checked="" type="checkbox"/> 2, FM DTS 融合セミナー受講 <input checked="" type="checkbox"/> 3, 卓越セミナーe サロン <input checked="" type="checkbox"/> 4, 意見交換会・交流会 (未来型医療創造卓越大学院プログラム特任教授(客員)・サラヤ株式会社 常務取締役 メディカル事業本部本部長 吉田 葉子先生、未来型医療創造卓越大学院プログラム特任教授(客員)・株式会社パソナ JOB HUB ソーシャルイノベーション部長 加藤遼先生、未来型医療創造卓越大学院プログラム特任教授(客員)・アマゾンウェブサービスジャパン合同会社 鈴木尚子先生、住友ベークライト株式会社 代表取締役副社長 稲垣昌幸様、IMPACT ACCESS(Japan) Founder & CEO 'Impact Curator' 日下部 裕美子様、沖縄科学技術大学院大学 学長 Karin Markides 先生、ロート製薬株式会社 代表取締役会長 山田邦雄様、EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 パートナー 木戸太一様、Fitbit 社シニアアドバイザー 熊谷芳太郎先生、厚生労働省医政局特定医薬品開発支援・医療情報担当参事官室 室長補佐 青木智乃紳先生) <input type="checkbox"/> 5, 広報取材		
・活動概要 ・感想 ・主な学び		
【活動】 医療と企業が有する技術シーズとの接続支援など、社会実装に向けた初動フェーズに関わる議論に携わった。また、国内外の学術・産業・医療領域から多様なリーダーが集う意見交換の場にも参加し、医療の現場に内在する課題に加え、それを取り巻く制度、文化、経済といった複層的な構造にまで広げた対話に触れた。		
【感想・学び】 社会構造が大きく揺れ動く今、よりよい医療を実現するためには、個別の技術革新にとどまらず、医療を取り巻く社会全体の構造的課題に目を向け、その解決に向けたアプローチを育むことが欠かせない。その視点・視座を持ち、研究に還元していくために本インターンに参加した。		

産学官の第一線で活躍されている方々との対話を通じて、本質的な価値を生み出すための思考と方法論を学ぶ機会を得られたことは、非常に貴重な経験であった。医療と社会、技術と倫理、個人と組織といった多層的な関係性のなかで、どのようにして本質的な価値を生み出すのかを、繰り返し思考する時間を持つことができた。現場のニーズと俯瞰的な全体デザインとの往復を通じて、思考の幅が少しずつ広がっていく実感も得られた。

また、イノベーションの基盤には、単なる技術的革新ではなく、信頼関係や倫理観、共感性といった人間的な要素が不可欠であることを、改めて学んだ。医療という人間中心の領域における価値創造の本質を、深く再認識する機会となった。今後は、学術的な探究と実装の両面を意識しながら、文化的背景も踏まえた「共創」の設計へと繋げていきたい。

II.活動

4) 個人活動



山崎 蒼空 Sora Yamasaki

現在、東北大学医学部に所属しております。大学での臨床医学の勉強に加え、公衆衛生における疾病予防や健康寿命の延伸に特に関心を持ち、その分野での知見を深めたいと思っております。将来的には、臨床経験を基盤に、国境を越えて人々と国々を結びつけ、より多くの人々の幸せに貢献することを目指しています。このインターンシップを通じて、その目標達成に不可欠なグローバルな視点と実践的なスキルを磨きたいと考えております。

[略歴]

2019年6月 Korea Kent Foreign School 卒
2020年4月 東北大学医学部医学科 入学
2026年3月 東北大学医学部医学科 卒業予定

インターン期間	所属	学部
2024年3月～現在	東北大学	学部：医学部
活動分野		
<input checked="" type="checkbox"/> 1, プロジェクト活動 富士通 <input checked="" type="checkbox"/> 2, FM DTS 融合セミナー受講 <input checked="" type="checkbox"/> 3, 卓越セミナーe サロン <input checked="" type="checkbox"/> 4, 意見交換会・交流会（未来型医療創造卓越大学院プログラム特任教授（客員）・東京海上ホールディングス株式会社 執行役員 グループサステナビリティ総括 鍋嶋美佳先生、厚生労働省医政局特定医薬品開発支援・医療情報担当参事官室 室長補佐 青木智乃紳先生） <input type="checkbox"/> 5, 広報取材		
・活動概要 ・感想 ・主な学び		
【活動】 プロジェクトワークとしては、富士通 Uvance の方々と主に産後うつ予防のための AI 活用支援システムのビジネス提案プロジェクトに3ヶ月間取り組み、MVP 提案を成功させました。このプロジェクトでは、育児アプリ、自治体サービス、医療機関を連携させ、AI で日記や生体データを分析するソリューションを設計し、技術的解決策で社会課題にアプローチする力や市場性、社会的影響を考慮する視点を養いました。加えて、e-サロンや各種セミナー、意見交換会にも積極的に参加し、世界で活躍されている方々から多くの刺激を受けました。		
【感想・学び】 プロジェクトワークでは、社会課題解決が社会実装されていく具体的なプロセスを肌で感じる事ができました。第一線にいらっしゃる方々から直接アドバイスをいただきながら、普段の学生生活では得難い多角的な視点を持ってプロジェクトを進めるという非常に貴重な経験を積むことができ、大きな刺激と学びを得ました。さらに、e-サロンや各種セミナー、意見交換会への参加も自身のキャリア観を大きく深める貴重な機会となりました。これらの経験を踏まえ、先の見えない VUCA の時代を生き抜くためには、変化にしなやかに対応する力と、多様な価値観を受け入れ活かしていく柔軟性をしっかりと身につける必要があると痛感しています。そして、これからの学生生活やその先のキャリアにおいても、常に自分自身のビジョンを問い続け、成長していきたいと考えています。		

II.活動

4) 個人活動



出口 敦智 Taichi Deguchi

東北大学医学部医学科に所属しています。バイオ領域の研究の社会実装と海外展開に関心があります。現在は神経変性疾患に対する創薬プロジェクトを進めつつ、本プログラムを通してデザイン思考や産学連携などについて勉強させていただいています。

[略歴]

2018年6月	Canyon Crest Academy 卒業
2018年6月	スクリプス研究所 入職
2020年4月	東北大学医学部医学科 入学
2026年3月	東北大学医学部医学科 卒業予定

インターン期間	所属	学部
2024年3月～現在	東北大学	学部：医学部
活動分野		
<input checked="" type="checkbox"/> 1, プロジェクト活動 医薬品業 D：医薬品の新規事業検討 <input checked="" type="checkbox"/> 2, FM DTS 融合セミナー受講 <input type="checkbox"/> 3, 卓越セミナーe サロン <input checked="" type="checkbox"/> 4, 意見交換会・交流会（未来型医療創造卓越大学院プログラム特任教授（客員）・日本電気株式会社 NEC フェロー 今岡仁先生、EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 パートナー 木戸太一様） <input type="checkbox"/> 5, 広報取材		
・活動概要 ・感想 ・主な学び		
【活動】 本プログラムを通し、多種多様な分野の方々とお話しすることができました。異分野の方々との意見交換や関連分野の先駆者の方々からのご指導を通し、次に繋がるような実践的な知見を得ることができました。 【感想・学び】 医学生がビジネスサイドで活動する上で、常に課題となるのが産業界との接点の少なさです。本プログラムでは通常自身では繋がるのが難しい方々との交流の機会をいただけるため、大変ありがたく思っています。		

II.活動

4) 個人活動



園田 芽生 May Sonoda

現在カーネギーメロン大学で一年目を終えた学部生です。電気コンピューター工学を専攻しており、簡単なプログラミングにも対応できます。特にチップデザインやハードウェアに興味があり、将来的にはその分野でキャリアを築いていきたいと思っています。学業外ではカーネギーメロン日本学生会の会長を務めております。産学連携を通じて現場での経験と、学んできた知識を活かして貢献できることを期待しています。

【略歴】

令和元年 8月	アメリカン スクール イン ジャパン 入学
令和 4年 5月	くら寿司で一年間バイト
令和 5年 4月	柳井正育英財団 入団
令和 5年	アメリカン スクール イン ジャパン 卒業
令和 5年	カーネギーメロン大学 入学

インターン期間	所属	学部
2024年5月～2024年8月	カーネギーメロン大学	学部：工学部
活動分野		
<input checked="" type="checkbox"/> 1, プロジェクト活動 電気機器業 C：新規事業検討、医薬品業 D		
<input checked="" type="checkbox"/> 2, FM DTS 融合セミナー受講		
<input type="checkbox"/> 3, 卓越セミナーe サロン		
<input checked="" type="checkbox"/> 4, 意見交換会・交流会（未来型医療創造卓越大学院プログラム特任教授（客員）・サラヤ株式会社 常務取締役 メディカル事業本部本部長 吉田 葉子先生、SOMPO ホールディングス グループ Co-CDO 執行役員 Albert B. Chu 先生、カナダ大使館商務官 烏田様・河尻様、0x beta CEO Marcel Botha 氏）		
<input type="checkbox"/> 5, 広報取材		
・活動概要 ・感想 ・主な学び		
【活動】 電気機器業 C センシングデバイス医療応用プロジェクト、意見交換会（上記参照）、施設見学：東北大学メガバンク、手術室、地域医療連携センター、ICU NEC 研究員と面談、富士通との打ち合わせ、医薬品卸業・電気機器業 D ブートキャンプ参加 工学研究科 戸津先生による MEMS 制作実習 インターンメンバーとの懇談会、スマート・エイジング学際重点研究センター見学		
【感想・学び】 デザイン思考的にどのような思考で課題を抽出するかを学んだ。知識のアップデートはもちろんだが、質より量で見つけたほうが早いことに驚いた。学生である自分にもいろいろな場面で応用することができる。それによって知見が広がり、ネットワークが構築でき、人生に対する充実感が生まれることを知った。		

II.活動

4) 個人活動



ハリソン・バンクス Harrison Banks

スタンフォード大学工学部で、生物工学（とくに精密医療）と日本語の勉強をしています。バイオデザインは、革新的な医療の未来に向けたユニークなアプローチであると強く思っており、その未来に貢献したいと思っています。

私は東北大学病院の集学的なチームで働けることを大変嬉しく思います。

このインターンシップを通して、共同研究のやり方を学び、必要としている人々のヘルスケアをより良くするために、バイオデザインがどのように医療問題に応用できるかを理解したいと考えております。

【略歴】

2021年7月 コールド・スプリング・ハーバー研究所 インターンシップ開始

2022年9月 コールド・スプリング・ハーバー研究所 インターンシップ終了

2023年9月 スタンフォード大学工学部 入学

インターン期間	所属	学部
2024年6月～2024年9月	スタンフォード大学	学部：工学部
活動分野		
<input checked="" type="checkbox"/> 1,プロジェクト活動 NEC、ガラス土石業C、ガラス土石業D		
<input checked="" type="checkbox"/> 2, FM DTS 融合セミナー受講		
<input type="checkbox"/> 3, 卓越セミナーe サロン		
<input checked="" type="checkbox"/> 4, 意見交換会・交流会 (SOMPO ホールディングス グループ Co-CDO 執行役員 Albert B. Chu 先生、カナダ大使館商務官 烏田様・河尻様、10x beta CEO Marcel Botha 氏、ロート製薬株式会社 代表取締役会長 山田邦雄様)		
<input type="checkbox"/> 5, 広報取材		
・活動概要 ・感想 ・主な学び		
【活動】 卓越大学院バックキャスト研修一部参加、NEC 医師の働き方改革プロジェクト、ガラス土石業C 事業コンセプト創出プロジェクト、ガラス土石業D 新治療開発プロジェクト、工学研究科 戸津先生による MEMS 制作実習 意見交換会（上記参照）、施設見学：メガバンク、手術室、ICU、ER、地域医療連携センター スマート・エン지니어リング学際重点研究センター見学、文科省マテリアル先端リサーチインフラ学生向け実習		
【感想・学び】 インターンを通し様々な企業様のプロジェクトに関わり研究・開発し成果を提供することが出来た。また様々な関係者と面談できネットワークを構築することができました。仲間との交流はとて有意義で日本文化と接するとともに日本語の勉強になりました。		

II.活動

4) 個人活動



小畑 蒼大 Sota Kobata

北海道大学工学部に所属し、AI やデータサイエンスの理論について学んでいます。本インターンを通して、これまでに培ってきたIT の知識・技術をバイオデザインに繋げ、従来の「医療」という枠組みの外に新しい価値を生み出すための勉強をさせていただきたいと考えております。

【略歴】

2023年3月 私立開智高等学校 卒業
2023年4月 北海道大学工学部情報エレクトロニクス学科 入学
2027年3月 北海道大学工学部情報エレクトロニクス学科 卒業予定

インターン期間	所属	学部
2024年5月～現在	北海道大学	学部：工学部
活動分野		
<input checked="" type="checkbox"/> 1, プロジェクト活動 NEC <input checked="" type="checkbox"/> 2, FM DTS 融合セミナー受講 <input checked="" type="checkbox"/> 3, 卓越セミナーe サロン <input type="checkbox"/> 4, 意見交換会・交流会 <input type="checkbox"/> 5, 広報取材		
・活動概要 ・感想 ・主な学び		
<p>【活動】</p> <p>私はインターンシップ活動で主に取り組んだ内容は(I)NEC 医師の働き方改革プロジェクト、(II)卓越セミナー等を通じた専門家お話の聴講や質問・議論です。</p> <p>NEC のプロジェクトでは週1回、先方社員を交えたミーティングに参加し、AI 創薬のトレンド、世界的な競争事情などについてキャッチアップすると同時に、これまで深く学ぶ機会のなかった創薬のパイプラインや臨床試験等における課題について学ばせていただきました。</p> <p>またクライアントとの活動とは別に、AI 創薬のスタートアップに関する競合調査にも取り組ませていただきました。競合他社の洗い出しから絞り込み・順位付けまでの各タスクにおいて、どこに着目しながらリサーチをしたらよいのかを勉強させていただきました。</p> <p>次に、卓越セミナーでは各分野で活躍されている社会人の方々のお話を聞いて、ビジネスを展開している人たちの視点を学ばせていただきました。特に興味を持っていた、医療とテクノロジーの複合分野で世界を舞台にお仕事をされている方のお話を通して、自分のこれからの働き方や成功につながるマインドセットを吸収させていただきました。</p> <p>【感想・学び】</p> <p>NEC 社との活動では、プロジェクト案を検討する中で生じた、技術的な障壁を痛感しました。この障害を乗り越えるための術をいかにして見出すか。これを以降の活動のテーマにしたいと考えています。</p> <p>競合他社のデスクトップリサーチでは、リストアップした企業を絞り込むための条件設定の方法に苦戦しました。今後は様々な案件を通して経験を積むことで、良い条件設定を見つけるための感覚を養いたいと思います。</p>		

卓越セミナーeサロンに参加した際は、自分の考えや経験を強く、そして明確にしておくことの重要性を学びました。講演者とのディスカッションで、「自分だったらどのようにして課題を解決するか」という内容を問われた際、提案したアイデアがどれだけ洗練されているかによってその場の議論の質も大きく変わるということを実感しました。影響力のある発言や提起を行うためにも、深い背景知識や独創的な視点・価値観を常に持つよう心がけようと思いました。

II.活動

4) 個人活動



國島 正寛 Masahiro Kunishima

本インターンプログラムを通して、医療業界の最新動向を理解し、デザインシンキングとチームワークのスキルを向上させたいと考えています。各業界で活躍するトップリーダーの方々から様々な考え方や働き方を学び、変化の激しい時代に適応できる人材に成長していきたいと思います。また、インターンでは医療デザインの創出過程を学び、既存の方法にとらわれず、新しい視点で課題を解決できる人材になりたいと考えております。

[略歴]

2020年3月 私立攻玉社中学校・高等学校 卒業
2020年3月 東北大学医学部医学科 入学
2026年3月 東北大学医学部医学科 卒業予定

インターン期間	所属	学部
2024年6月～現在	東北大学	学部：医学部
活動分野		
<input type="checkbox"/> 1, プロジェクト活動 <input checked="" type="checkbox"/> 2, FM DTS 融合セミナー受講 <input type="checkbox"/> 3, 卓越セミナーe サロン <input checked="" type="checkbox"/> 4, 意見交換会・交流会（厚生労働省医政局特定医薬品開発支援・医療情報担当参事官室 室長補佐 青木智乃紳先生） <input type="checkbox"/> 5, 広報取材		
・活動概要 ・感想 ・主な学び		
<p>本年度のインターン活動では、AWS 担当者との意見交換を通じ、医療現場におけるクラウド導入の課題と将来展望について議論しました。現在、多くの医療機関ではカルテや検査データが各病院ごとに個別管理されており、患者が他院を受診する際には検査の再実施を余儀なくされるなど、医療提供者・患者双方に多大な手間が生じています。また、紹介元・先病院間で情報共有のために問い合わせ作業が繰り返される非効率性も指摘されました。これらの課題を解消すべくクラウド基盤を活用する意義は大きいものの、プライバシー保護やセキュリティ担保の観点から懸念がある点、導入コスト・運用負荷が大規模病院に限られる現状、加えて技術人材の偏在による適用格差など、克服すべきハードルが多岐にわたることを学びました。プライバシー保護では、アクセス権限管理やデータ暗号化の実装が必須である一方、これらの設定には高度な専門知識と運用負荷が伴う点が議論されました。また、クラウド導入後の ROI 評価やベンダー選定プロセスの複雑性が明らかになり、中小規模病院では予算面でのハードルが高い実態を痛感しました。この経験を通して、医療 DX プロジェクトにおけるコミュニケーション能力と課題解決力が向上したと感じています。また、異業種連携の場で自らの学びや意見を伝える自信を深めました。さらに、中川先生との対話では、医療経営や政策的視点からマクロレベルでの医療システム構築の重要性や、将来的なデータ連携の在り方について示唆を得られ、異分野連携の必要性を再認識しました。今回のディスカッションを通じ、安全かつスケーラブルな医療情報連携プラットフォームの設計に参画したいという目標が明確になり、今後のキャリアにおいても大きな指針を得ました。</p>		

Ⅲ.成果

1)学会・各種発表

1. Nakagawa A. Redefining the role of the Academic Hospital Key:Design thinking×Digital transformation. Taipei Medical University 来訪. オープン・ベッド・ラボ(仙台) 2023.4.20
2. 中川敦寛. 健康寿命≡寿命への取組み：カギはデータ、デザインシンキング、テクノロジーの co-create. 第31回日本医学総会 2023 東京. 東京国際フォーラム(東京) 2023.4.23
3. 中川敦寛. 病院は co-creation を通じて社会課題を解決し、ソリューションを生み出す場となる（東北大学病院スマートホスピタルプロジェクト）. Taiwan-Japan Industry Center（日中小企業法規制市場セミナー～スマートホスピタルの部～）オンライン 2023.4.26
4. Nakagawa A, Perl L, Moran D, Heller D. “The differences between Japanese and Israeli culture provide a fertile ground for a one-of-a-kind collaboration”. The Land of the Rising Sun Meets The Nation of Rising Innovation. 虎ノ門ヒルズフォーラム(東京) 2023.5.30
5. Nakagawa A. Redefining the role of the Academic Hospital Key:Design thinking × Digital transformation. National Yang Ming Chiao Tung University 来訪. デジタルヘルステストラボ(仙台) 2023.6.5
6. 中川敦寛、志賀卓弥、奥山節子、小鯖貴子、富永悌二. 医療現場からはじまるイノベーション-9年半、60社、1600名の開発関係者を医療現場に受け入れた経験から-. Japan Healthcare Innovation Hub オンライン勉強会「医療現場から始まるイノベーション」. オンライン 2023.7.12
7. 中川敦寛、張替秀郎、富永悌二. 東北大学病院ベットサイドソリューションプログラム(医療現場を起点とした医療イノベーション)のご紹介-Welcome to the bedside-. 共創研究所交流会 第一部 交流会 | 共創研究所の活動紹介、大学シーズ紹介等. 東北大学サイエンスキャンパスホール(仙台) 2023.7.14
8. 中川敦寛、志賀卓弥、原田成美、大田千晴. 医療現場に根差した医療機器開発研究・教育するために必要な方法、インフラ、人材. 医工学シンポジウム 2023～医工連携の現在そして未来～. 東北大学サイエンスキャンパスホール(仙台) 2023.7.22
9. Makeower J, Nakagawa A, Denend L, Ko HL, Vaisbuch Y, Pagidimarry NK, Oldakowska I, Peng LP, Ikeno F. Embracing Diversity in Your Innovation Program. BME IDEA APAC. TMU Xing-Chun Building 1F-iCollege(台北) 2023.7.29
10. 中川敦寛,張替秀郎,富永悌二. 東北大学病院における医療現場の生産性向上、収益構造変化への挑戦-デザイン思考、産業とのアライアンスの活用-. 第158回スタンフォードトーク会. オンライン 2023.8.27
11. 中川敦寛,志賀卓弥,奥山節子,小鯖貴子,庄司貞雄.三瓶綾子 臨床現場を「解決に値するテーマを選定」し、「イノベーションの場にする」取り組み(東北大学病院ベットサイドソリューションプログラム). 第20回日本婦人科がん会議. ホテル松島大観荘(仙台) 2023.9.8
12. 中川敦寛. 2040年には医療の中心を担っているみなさんへ：カギはデザインする力とテクノロジーを使いこなす力. 東邦大学講義 総合医療 2023 . 東邦大学(東京) 2023.9.11
13. 中川敦寛. イノベーション、プロダクション、オペレーションのメンタリング-海外医療機関、アカデミア、インダストリー事例のご紹介-. 鹿島建設メンタリングセミナー. オンライン 2023.9.20
14. パネルディスカッションモデレーター中川敦寛,志賀卓弥,パネリスト鷹取文彦,Cameron,Andrew,大田英輝,三澤裕,中山将行,間々田圭祐. パネルディスカッション「新規企業が参入するための課題とコツ」.

- R5AMED 次世代事業シンポジウム ソリューション開発に必要なスキル、ピットフォール、ステーション
 コンファレンス東京(東京) 2023.9.29
15. Nakagawa A. Redefining the role of the Academic Hospital Partnering Industry for Co-Innovation and Evolving the Hospital Profit Mix. SingHealth Office for Innovation (SHOFI) . Centre for Healthcare Innovation(シンガポール) 2023.10.03
 16. Nakagawa A. Redefining the role of the Academic Hospital Partnering Industry for Co-Innovation and Evolving the Hospital Profit Mix. NUS Enterprise. National University of Singapore (シンガポール) 2023.10.4
 17. Nakagawa A. Redefining the role of the Academic Hospital Partnering Industry for Co-Innovation and Evolving the Hospital Profit Mix. Singapore Biodesign(SBFaculty Fellowship Weekly Mentoring Session) . Singapore Biodesign(シンガポール) 2023.10.4
 18. Nakagawa A. Redefining the role of the Academic Hospital Partnering Industry for Co-Innovation and Evolving the Hospital Profit Mix. SingHealth Office for Innovation. SingHealth Tower(シンガポール) 2023.10.5
 19. 中川敦寛,張替秀郎,富永悌二. デザイン思考と医療機器開発-8年半、57社、1500名のみなさんとの co-creation で目標達成に影響を及ぼしたスキル -. 医療機器開発人材育成講座. オンライン 2023.10.20
 20. Nakagawa A. Redefining the role of the Academic Hospital Partnering Industry for Co-Innovation and Evolving the Hospital Profit Mix Update from Tohoku University Hospital. ビジネスオウル来訪. オープン・ベッド・ラボ(仙台) 2023.11.1
 21. 中川敦寛. 海外医療機関、アカデミア、インダストリー経験から-オペレーション、プロダクション、イノベーションのメンタリング事例-. ファシリテーター教員事例発表会. ハイブリット(仙台) 2023.11.7
 22. 中川敦寛. 産業提携によるライフサイエンス事業の潮流、東北大学病院の取り組み-病院は診断+治療から課題解決を通じた価値創造の場へ-. 第507回 S.K.K 例会 秋季視察. オープン・ベッド・ラボ(仙台) 2023.11.10
 23. 中川敦寛,張替秀郎,富永悌二. デザイン思考と医療機器開発-8年半、57社、1500名のみなさんとの co-creation で目標達成に影響を及ぼしたスキル -Redefining the role of Academic Hospital. 医療機器開発人材育成講座ベーシック実地コース第2回. オンライン 2023.11.11
 24. 中川敦寛. 開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業. ケニア現地事業説明会. マッキンゼーケニア(ナイロビ) 2023.12.5
 25. Nakagawa A. Strategy and Future vision, Research interests, Capabilities and infrastructure, Expectations from the partnership Tohoku University and TUH. Philips Innovation Campus Bangalore. Philips Innovation Campus (ベンガルール) 2024.1.10
 26. Nakagawa A. State-of-the-Art Lecture Partnering with Medtech Industry for Co-Innovation and Evolving Hospital Value Creation Experience at Tohoku University Hospital. ASIAN MEDTECH INNOVATION SUMMIT 2024. AUDITORIUM, AIG HOSPITALS,GACHIBOWLI, HYDERABAD(ハイデラバード) 2024.1.12
 27. Nakagawa A. Session-5 Medtech Innovation Start Up Showcase Medtech Design Thinking Bootcamp: Innovate to Impact Human-centered design thinking tools & techniques Bedside-to-Bench Experience at Tohoku University Hospital. ASIAN MEDTECH INNOVATION SUMMIT 2024. AUDITORIUM, AIG HOSPITALS,GACHIBOWLI, HYDERABAD(ハイデラバード) 2024.1.12

28. 中川敦寛,志賀卓弥,原田成美,大田千晴,奥山節子,小鯖貴子. Huge Mismatch を解決するのはわれわれ医療従事者！医療機器・ソリューション開発のステップとピットフォール. 順天堂大学病院 第1回医療機器開発研究レクチャー. オンライン 2024.1.16
29. 中川敦寛,志賀卓弥,原田成美,大田千晴,奥山節子,小鯖貴子. 医療・ヘルスケアイノベーション-デザインをとり入れることでコンテキストを創る -. 技術者のための医学・医工学教育プログラム EMBEE 2023 年度 第8回 東京出張講義. 日本橋ライフサイエンスビルディング (東京) 2024.2.10
30. Nakagawa A. Partnering with Industry for Co-Innovation, Evolving Hospital Value Creation, Experience at Tohoku University Hospital. Fujitsu Research America. Fujitsu Research Institute (サンノゼ)2024.2.13
31. 中川敦寛. ウェルビーイング社会の実現に向けた東北大学病院の取り組み～医療機関は診断 + 治療の場であることに加えて課題解決による価値創造の場へ～. 日経オンラインセミナー 医療・健康データの利活用によるウェルビーイング社会の実現. オンライン 2024.2.20
32. 中川敦寛. 東北大学病院と企業との共創：課題解決を通じたウェルビーイング実現、病院の新たな価値. ウェルビーイング エキスポ. 東京ビックサイト(東京) 2024.2.20
33. 中川敦寛. 「アフリカでのデザイン思考の活用」. AMED 開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業成果報告会. TKP ガーデンシティ PREMIUM 京橋(東京) 2024.3.1
34. 中川敦寛,志賀卓弥,原田成美,大田千晴,奥山節子,小鯖貴子. 少子超高齢に伴う「Huge Mismatch」の処方箋 医療機関は診断 + 治療から課題解決を通じた価値創造の場に. ボストン日本人研究者交流会. Morris and Sophie Chang Building(ボストン) 2024.3.16
35. Nakagawa A. Tohoku University Hospital Harmonization of patient-centered care & cutting edge medical practice. リトアニア政府訪問団 来訪. 東北大学病院(仙台) 2024.3.26
36. Nakagawa A. How to solve “Huge Mismatch” in the super-aging society? Redefining the role of academic institute to solve problems, acreating value through co-creation. KPMG Chairman’s Program – Japan Start-up Break-out Session. 虎ノ門ヒルズ(東京) 2024.4.16
37. 中川敦寛. 第1回「分野」ライフサイエンスについて. 青山社中株式会社 第一回メガベンチャー勉強会. CIC Tokyo(東京) 2024.5.29
38. Nakagawa A, Furukawa H, Kudo D, Kushimoto S, Tominaga T. Business Continuity Plan of the Hospital- Lessons from the chronologies of Great East Japan Earthquake at 14 designated hospitals for disaster control and Miyagi Prefecture Survey - Climate & Disaster Resilient for Health Systems Preparing health systems for a new age of shocks. 世界銀行 東京開発ラーニングセンター(東京) 2024.6.24
39. Nakagawa A. How to solve “Huge Mismatch” in the super-aging society?Redefining the role of academic institute to solve problems, creating value through co-creation. SOMPO ホールディングス アルバート・チュー氏 来訪. オープン・ベッド・ラボ(仙台) 2024.7.5
40. 中川敦寛. デザインアプローチ手法の有用性と今後の展望 新興国・途上国での事例を含めて. 第8回 令和6年度 東京電機大学医療機器国際展開技術者育成講座. オンライン 2024.7.19
41. Nakagawa A. Redefining the Role of the Academic Hospital:Partnering Industry for Co-Innovation and Evolving the Hospital Profit Mix. 10th Annual CWRU-Tohoku University DATA SCIENCE SYMPOSIUM in Engineering & Life Sciences. Case Western Reserve University(クリーブランド) 2024.8.5
42. 中川敦寛. メディカル DX で医療現場が提供する価値：全体デザイン、ユーザーインサイト. 第3回メディカル DX・ヘルステックフォーラム 2024. オンライン 2024.9.28

43. 中川敦寛,志賀卓弥,原田成美,大田千晴,奥山節子,小鯖貴子. デザイン思考と医療機器開発 - 10 年半、70 社、1700 名のみなさんとの co-creation で目標達成に影響を及ぼしたスキル - Importance of Holistic Design. 2024 医療機器開発人材育成講座 RS 総論 平日 web コース. オンライン 2024.10.12
44. 中川敦寛,志賀卓弥,原田成美,大田千晴,遠藤英徳,張替秀郎,富永悌二. Comfortable for all 「働き方改革」産学連携からのアプローチ Industry-academia collaboration transforms medical institutions from diagnosis and treatment to places of value creation through problem-solving. 第 52 回日本救急医学会総会・学術集会. 仙台国際センター(仙台) 2024.10.13
45. 中川敦寛. データと AI を活用した医療改革. Fujitsu ActivateNow2024. グランドハイアット東京(東京) 2024.10.23
46. 中川敦寛. Show Case Japan Biodesign BME IDEA APAC. BME IDEA APAC 2024.The University of Melbourne(メルボルン) 2024.10.28
47. Nakagawa A. How to solve “Huge Mismatch” in the super-aging society?Redefining the role of academic institute to solve problems, creating value through co-creation. Lee Kong Chian School of Medicine. Nanyang Technological University(シンガポール) 2024.11.1
48. 中川敦寛. 医療安全の実現に向けたデザイン思考からのアプローチ. 第 37 回日本内視鏡外科学会総会 医工連携 1 医工連携により推進する内視鏡手術の医療安全. 福岡国際会議場(福岡) 2024.12.5
49. 中川敦寛,小鯖貴子,奥山節子,志賀卓弥,原田成美,大田千晴. 大学病院の果たす役割の再定義：診断＋治療に加え産業と共創し、課題解決を通じ、社会的インパクトと経済的規模を併せ持つ価値創造の場に. 全国国立大学病院材料部長会議. TKP ガーデンシティ(仙台) 2024.12.6
50. Nakagawa A. Redefining the role of the academic hospital Diagnosis + Treatment + Place to solve the problem with industry, shifting from research, innovation, to enterprise. 15th Fraunhofer Symposium in SendaiMicro/Nanotechnology, MedTec and Life Sciences: Shaping the Future – Miyagi-Germany Technology & Business Matching -. TKP ガーデンシティ仙台(仙台) 2024.12.10
51. 中川敦寛. 医療機関の果たす役割の再定義. 国立循環器病研究センター講演. 国立循環器病研究センター(大阪) 2024.12.18
52. 中川敦寛,志賀卓弥,櫻井碧,針谷綾花,原田成美,大田千晴. 医療・ヘルスケアイノベーション- デザインにより質の向上と More work, Less impact から Less work, High impact へのシフト-. 技術者のための医学・医工学教育プログラム EMBEE2024 年度 科目：産学連携・ASU. 日本橋ライフサイエンスビルディング(東京) 2025.1.11
53. 中川敦寛,志賀卓弥,原田成美,針谷綾花,櫻井碧,小鯖貴子,刈部博,遠藤英徳. 医工連携・産学連携：脳神経外科医が取り組む意味 Industry-academia collaboration transforms medical institutions from diagnosis and treatment to places of value creation through problem-solving. 第 48 回日本脳神経外傷学会 シンポジウム 3 脳神経外傷を科学する. 都市センターホテル(東京) 2025.2.21
54. 中川敦寛,志賀卓弥,櫻井碧,原田成美,大田千晴. 産学連携により医療機関は診断＋治療から 課題解決を通じた価値創造の場に：Industry-academia collaboration transforms medical institutions from diagnosis and treatment to places of value creation through problem-solving. 第 88 回京大データヘルス研究会. 京都大学医学部構内 先端科学研究棟. ハイブリッド 2025.3.26

Ⅲ.成果

2) 出版物

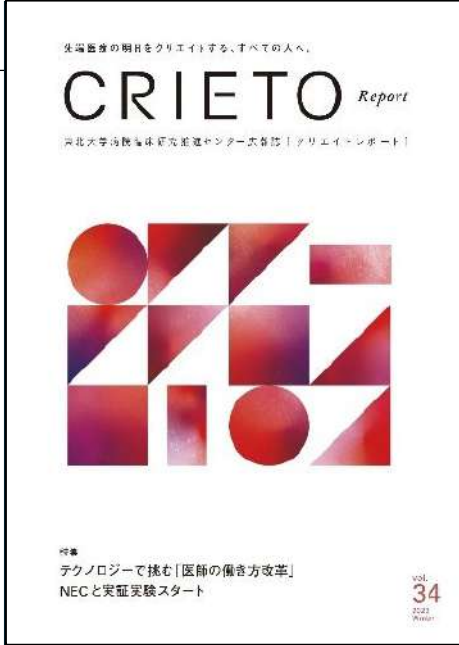
1. 中川敦寛,Perl L、Lee J,原田成美,大田千晴,志賀卓弥,角南沙己,新妻邦泰,遠藤英徳,張替秀郎,富永悌二. 医工連携とオープンイノベーション 総説欄 産学連携における最新の動向. 医学書院「脳神経外科」52 巻 1 号 (2024 年 1 月号) : 213-225. 2024
2. 中川敦寛、原田成美、櫻井碧、柳澤祐太、遠藤英徳. 特集Ⅱ脳神経内科領域における Society5.0 Society5.0 のデザインと脳神経内科. NEUROLOGY 脳神経内科 Vol.100 No.2 2024 : 168-175. 2024
3. 中川敦寛,原田成美,櫻井碧,柳澤祐太,遠藤英徳. 特集Ⅱ脳神経内科領域における Society5.0Society5.0 のデザインと脳神経内科. NEUROLOGY 脳神経内科 Vol.100 No.2 2024 :168-175. 2024
4. Goda K,Igaki T, Kuhn B, Mizushima N, Nagai T, Nakagawa A, Osumi N, Shen A, Sonoshita M,Yanagisawa M. Japan can be a science heavyweight once more — if it rethinks funding. Nature Vol 638 : 318-320. 2025

III.成果

3)掲載記事

東北大学病院臨床研究推進センター広報誌

CRIETO Report 2023 Winter vol.34



III.成果

3)掲載記事

東北大学病院ホームページ

2025.2.10

NEC と東北大学病院 第7回日本オープンイノベーション大賞日本学術会議会長賞を受賞
～医療現場の革新へ！医師の働き方改革を目指す医療大規模言語モデルの研究開発と実用化～



2025.2.20

NEC と東北大学病院、国立情報学研究所主催のコンテスト
NTCIR-18 の医療言語処理タスクで第1位を獲得



活動の様子



誕生日会



最終プレゼン



修了式



現場観察

東北大学病院
未来医療人材育成寄附部門

最終活動報告 2025

2025年10月発行

〒980-8575 仙台市青葉区星陵1-1

TEL 022-274-3501



最終活動報告

2020.4-2025.3 **Final Report**